



提供年月日	令和4年12月19日
担当部署	草津市環境経済部農林水産課
担当者名	所属長：舟木 朋宏 担当：井上 升二、田名部 亮太
連絡先	直通 077-561-2347 (内線) 2378

**伝統農産物を活用した食農教育推進事業（はたけのご体験事業）の実施！！**  
**来年は給食残渣（循環型農業）も加え、さらにパワーアップ！！**

**【事業概要】**

草津市では、本年3月に第2次草津市農業振興計画を策定し、『農』を通じたつながりの拡大を図るために、就学前教育・保育施設の子どもを対象に、袋栽培を活用した「食農教育」の取り組みを進めてまいりました。

種まきから大切に育てた山田ねぎみ大根（伝統農産物）を給食で食べ、その後、給食残渣（中学校給食）を活用して土壌の再生をすることで、循環型農業による持続可能な農業や食の大切さを学び、SDGsを推進します。

**【日時および場所（給食）】**

- 1 日時  
令和4年12月20日（火）12時～
- 2 場所  
矢橋ふたばこども園（草津市矢橋町888-1）
- 3 対象児童  
5歳児26名

**==ここがポイント==**

- ① 近畿最大級の施設野菜産地である、草津市の特色を生かした「野菜」の取り組みで、伝統農産物の栽培
- ② 袋栽培→収穫→給食で食べるといった、一貫した「食農教育」による、収穫の喜びや食の大切さの実感
- ③ 給食残渣を活用した循環型農業によるSDGsの推進

**【その他】**

- ・今年度はモデルとして、公立の就学前教育・保育施設のみで実施しています。
- ・公立13施設で栽培を行っていますが、記者提供日より前に収穫を終えています。

